

はじめに

わが国の推計人口は、最新の統計によりますと 2060 年に 8,674 万人と現在の約 3 分の 2 まで減少し、65 歳以上の高齢者は 39.9%になることが予測されています。

このような背景の中で平成 12 年度にスタートした介護保険制度は、制度施行後 12 年が経過し、サービスの利用者数が施行当初の約 3 倍となるなど、高齢者の暮らしを支える制度として定着しつつあります。

一方で、今後の急速な高齢化の進行に伴い、医療ニーズの高い高齢者や重度の要介護者の増加、単身・高齢者のみ世帯の増加への対応、介護人材の確保等が喫緊の課題となっています。

これらの課題に対応し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにするために、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築が必要になっています。

このたび、策定しました第 5 期計画（平成 24～26 年度）「播磨町高齢者福祉計画（第 6 次）及び介護保険事業計画（第 5 期）」は、団塊の世代が 65 歳に到達する平成 27 年を目標とする仕上げの計画となることから、第 4 次播磨町総合計画の基本理念「まちがいきいき きらめくはりま ～ 未来につなげる みんなのまちづくり～」の実現に向けて、前期計画の検証を行い、給付分析や最新の統計などを通じて高齢者を取り巻く社会環境や高齢者のニーズを把握し、今後 3 年間の各施策や事業の方向性を取りまとめています。今後は基本理念を実現するため、基本目標を念頭に各推進施策を進めてまいります。

最後になりましたが、本計画策定にあたりご尽力を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

平成 24 年 3 月



播磨町長 清水 ひろ子